付属資料１　管理ファイルのＤＴＤ

１　工事管理ファイルのＤＴＤ

成果品の電子媒体に格納する工事管理ファイル（INDEX_MC.XML）の DTD（IND_MC02.DTD）を以下に示す。

```
<!--IND_MC02.DTD / 2007/04 -->
<!ELEMENT constdata (基礎情報,工事件名等,場所情報?,施設情報,発注者情報,請負者情報,予備*,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST constdata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!-- 基礎情報 -->
<!ELEMENT 基礎情報 (メディア番号,メディア総枚数,適用要領基準,発注図フォルダ名?,特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名?,打合せ簿フォルダ名?,打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名?,施工計画書フォルダ名?,施工計画書オリジナルファイルフォルダ名?,施工図面完成図フォルダ名?,完成図書フォルダ名?,B実施仕様書フォルダ名?,B計算書フォルダ名?,B施工図フォルダ名?,B機器図フォルダ名?,B施工管理記録書フォルダ名?,B取扱説明書フォルダ名?,写真フォルダ名?,その他フォルダ名?,その他オリジナルフォルダ情報*,台帳フォルダ名?)>
<!ELEMENT メディア番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メディア総枚数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注図フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工計画書フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工計画書オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工図面完成図フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 完成図書フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT B実施仕様書フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT B計算書フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT B施工図フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT B機器図フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT B施工管理記録書フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT B取扱説明書フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他オリジナルフォルダ情報 (その他オリジナルファイルフォルダ名,その他オリジナルファイルフォルダ日本語名)>
<!ELEMENT その他オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他オリジナルファイルフォルダ日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 台帳フォルダ名 (#PCDATA)>
```

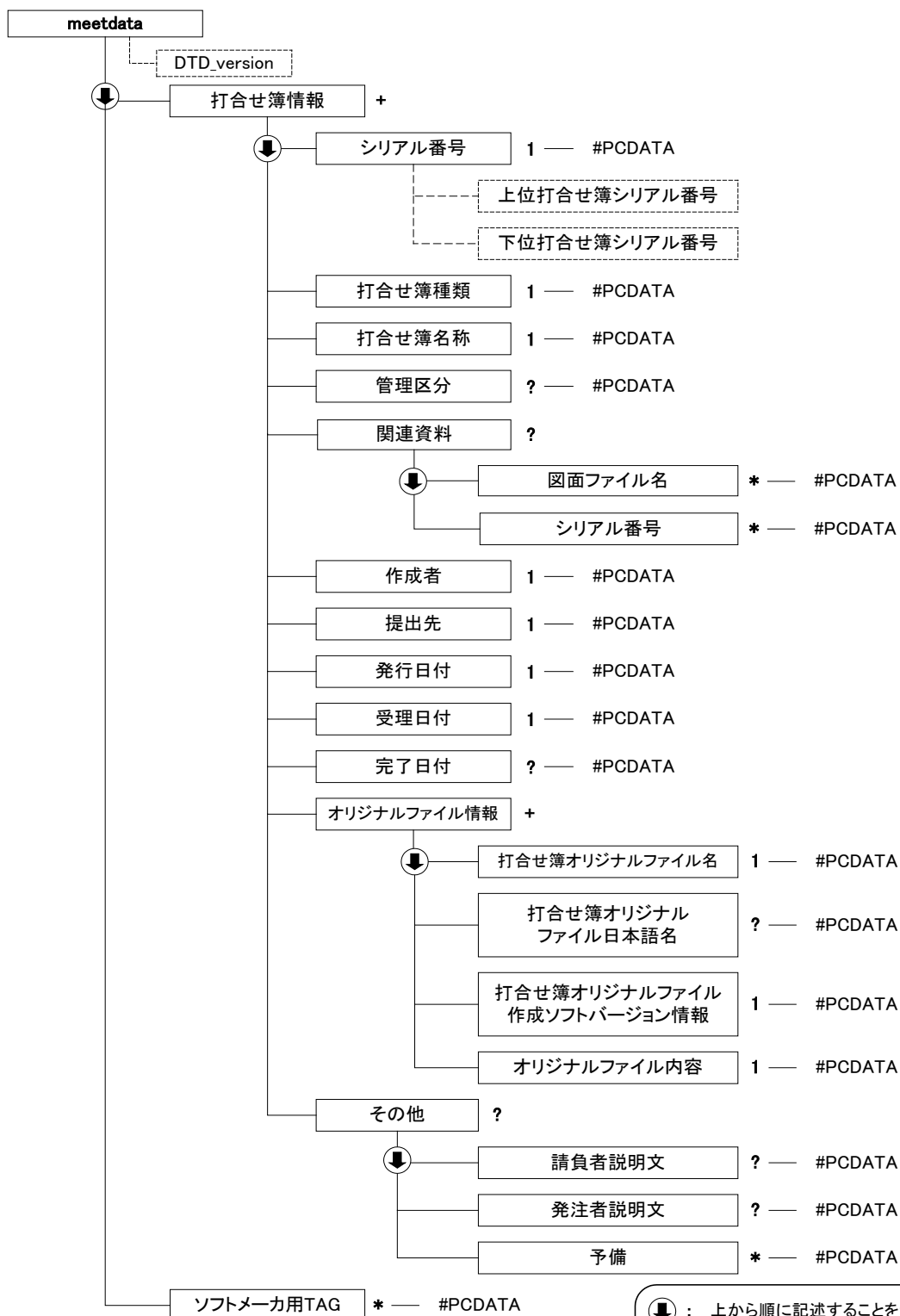
```
<!-- 工事件名等 -->
<!ELEMENT 工事件名等 (発注年度,工事番号,工事名称,施工金額,工事実績システムバージョン番号,工事分野,工事業種,工種-工法型式+,住所情報+,工期開始日,工期終了日,工事内容)>
<!ELEMENT 発注年度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工金額 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事実績システムバージョン番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事分野 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事業種 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工期開始日 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工期終了日 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事内容 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 工種-工法型式 (工種+,工法型式+)>
<!ELEMENT 工種 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工法型式 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 住所情報 (住所コード+,住所+)>
<!ELEMENT 住所コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 住所 (#PCDATA)>

<!-- 場所情報 -->
<!ELEMENT 場所情報 (測地系?,水系－路線情報*,境界座標情報?)>
<!ELEMENT 測地系 (#PCDATA)>

<!-- 水系-路線情報 -->
<!ELEMENT 水系-路線情報 (対象水系路線名?,現道-旧道区分?,対象河川コード*,左右岸上下線コード*,測点情報*,距離標情報*)>
<!ELEMENT 対象水系路線名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 現道-旧道区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 対象河川コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 左右岸上下線コード (#PCDATA)>

<!-- 測点情報 -->
<!ELEMENT 測点情報 (起点側測点-n?,起点側測点-m?,終点側測点-n?,終点側測点-m?)>
<!ELEMENT 起点側測点-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 起点側測点-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側測点-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側測点-m (#PCDATA)>

<!-- 距離標情報 -->
<!ELEMENT 距離標情報 (起点側距離標-n?,起点側距離標-m?,終点側距離標-n?,終点側距離標-m?)>
<!ELEMENT 起点側距離標-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 起点側距離標-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側距離標-n (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 終点側距離標-m (#PCDATA)>

<!-- 境界座標情報 -->
<!ELEMENT 境界座標情報 (西側境界座標経度,東側境界座標経度,北側境界座標緯度,南側境
界座標緯度)>
<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>

<!-- 施設情報 -->
<!ELEMENT 施設情報 (台帳フォルダ)>
<!ELEMENT 台帳フォルダ (#PCDATA)>

<!-- 発注者情報 -->
<!ELEMENT 発注者情報 (発注者-大分類,発注者-中分類,発注者-小分類,発注者コード)>
<!ELEMENT 発注者-大分類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者-中分類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者-小分類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者コード (#PCDATA)>

<!-- 請負者情報 -->
<!ELEMENT 請負者情報 (請負者名,請負者コード?)>
<!ELEMENT 請負者名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 請負者コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

IND_MC02.DTDの構造図
constdata
DTD_version
基礎情報 1
メディア番号 1 - #PCDATA
メディア総枚数 1 - #PCDATA
適用要領基準 1 - #PCDATA
発注図フォルダ名 ? - #PCDATA
特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名 ? - #PCDATA
打合せ簿フォルダ名 ? - #PCDATA
打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名 ? - #PCDATA
施工計画書フォルダ名 ? - #PCDATA
施工計画書オリジナルファイルフォルダ名 ? - #PCDATA
施工図面完成図フォルダ名 ? - #PCDATA
完成図書フォルダ名 ? - #PCDATA
B実施仕様書フォルダ名 ? - #PCDATA
B計算書フォルダ名 ? - #PCDATA
B施工図フォルダ名 ? - #PCDATA
B機器図フォルダ名 ? - #PCDATA
B施工管理記録書フォルダ名 ? - #PCDATA
B取扱説明書フォルダ名 ? - #PCDATA
写真フォルダ名 ? - #PCDATA
その他フォルダ名 ? - #PCDATA
その他オリジナルフォルダ情報 *
その他オリジナルファイルフォルダ名 1 - #PCDATA
その他オリジナルファイルフォルダ日本語名 1 - #PCDATA
台帳フォルダ名 ? - #PCDATA
工事件名等 1
発注年度 1 - #PCDATA
工事番号 1 - #PCDATA
工事名称 1 - #PCDATA
施工金額 1 - #PCDATA
工事実績システムバージョン番号 1 - #PCDATA
工事分野 1 - #PCDATA
工事業種 1 - #PCDATA
工種-工法型式 +
工 種 + - #PCDATA
工法型式 + - #PCDATA
住所情報 +
住所コード + - #PCDATA
住所 + - #PCDATA
工期開始日 1 - #PCDATA
工期終了日 1 - #PCDATA
工事内容 1 - #PCDATA
場所情報 ?
測地系 ? - #PCDATA
水系-路線情報 *
対象水系路線名 ? - #PCDATA
現道-旧道区分 ? - #PCDATA
対象河川コード * - #PCDATA
左右岸上下線コード * - #PCDATA
測点情報 *
起点側測点-n ? - #PCDATA
起点側測点-m ? - #PCDATA
終点側測点-n ? - #PCDATA
終点側測点-m ? - #PCDATA
距離標情報 *
起点側距離標-n ? - #PCDATA
起点側距離標-m ? - #PCDATA
終点側距離標-n ? - #PCDATA
終点側距離標-m ? - #PCDATA
境界座標情報 ?
西側境界座標経度 1 - #PCDATA
東側境界座標経度 1 - #PCDATA
北側境界座標緯度 1 - #PCDATA
南側境界座標緯度 1 - #PCDATA
施設情報 1
台帳フォルダ 1 - #PCDATA
発注者情報 1
発注者-大分類 1 - #PCDATA
発注者-中分類 1 - #PCDATA
発注者-小分類 1 - #PCDATA
発注者コード 1 - #PCDATA
請負者情報 1
請負者名 1 - #PCDATA
請負者コード ? - #PCDATA
予 備 * - #PCDATA
ソフトメーカ用TAG * - #PCDATA
: 上から順に記述することを示す。
1 : 必ず、1回記述する。
? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+ : 必ず、1回以上記述する。
* : 記述は任意。複数の記述を認める。

2　打合せ簿管理ファイルのDTD

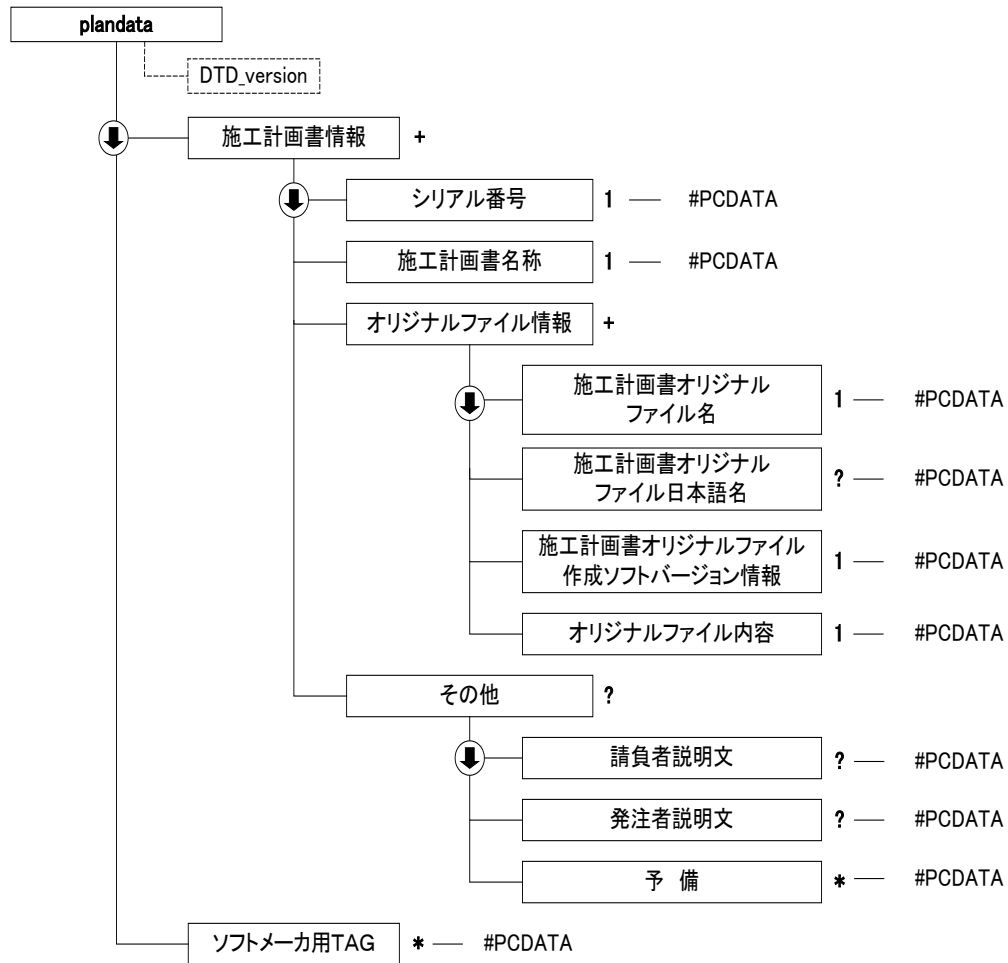
成果品の電子媒体に添付する打合せ簿管理ファイル（MEET.XML）の DTD（MEET02.DTD）を以下に示す。

```
<!--MEET02.DTD / 2007/04 -->
<!ELEMENT meetdata (打合せ簿情報+,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST meetdata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!-- 打合せ簿情報 -->
<!ELEMENT 打合せ簿情報 (シリアル番号,打合せ簿種類,打合せ簿名称,管理区分?,関連資料?,作成者,提出先,発行日付,受理日付,完了日付?,オリジナルファイル情報+,その他?)>
<!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
<!ATTLIST シリアル番号 上位打合せ簿シリアル番号 NMTOKEN #IMPLIED>
<!ATTLIST シリアル番号 下位打合せ簿シリアル番号 NMTOKEN #IMPLIED>
<!ELEMENT 打合せ簿種類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 管理区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 作成者 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 提出先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発行日付 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 受理日付 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 完了日付 (#PCDATA)>

<!-- 関連資料 -->
<!ELEMENT 関連資料 (図面ファイル名*,シリアル番号*)>
<!ELEMENT 図面ファイル名 (#PCDATA)>

<!-- オリジナルファイル情報 -->
<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (打合せ簿オリジナルファイル名,打合せ簿オリジナルファイル日本語名?,打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容)>
<!ELEMENT 打合せ簿オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>

<!-- その他 -->
<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>
<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

MEET02.DTDの構造図
meetdata
DTD_version
打合せ簿情報 +
シリアル番号 1 #PCDATA
上位打合せ簿シリアル番号
下位打合せ簿シリアル番号
打合せ簿種類 1 #PCDATA
打合せ簿名称 1 #PCDATA
管理区分 ? #PCDATA
関連資料 ?
図面ファイル名 ＊ #PCDATA
シリアル番号 ＊ #PCDATA
作成者 1 #PCDATA
提出先 1 #PCDATA
発行日付 1 #PCDATA
受理日付 1 #PCDATA
完了日付 ? #PCDATA
オリジナルファイル情報 +
打合せ簿オリジナルファイル名 1 #PCDATA
打合せ簿オリジナル ファイル日本語名 ? #PCDATA
打合せ簿オリジナルファイル 作成ソフトバージョン情報 1 #PCDATA
オリジナルファイル内容 1 #PCDATA
その他 ?
請負者説明文 ? #PCDATA
発注者説明文 ? #PCDATA
予備 ＊ #PCDATA
ソフトメーカ用TAG ＊ #PCDATA
: 上から順に記述することを示す。
1 : 必ず、1回記述する。
? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+ : 必ず、1回以上記述する。
＊ : 記述は任意。複数の記述を認める。

3　施工計画書管理ファイルのDTD

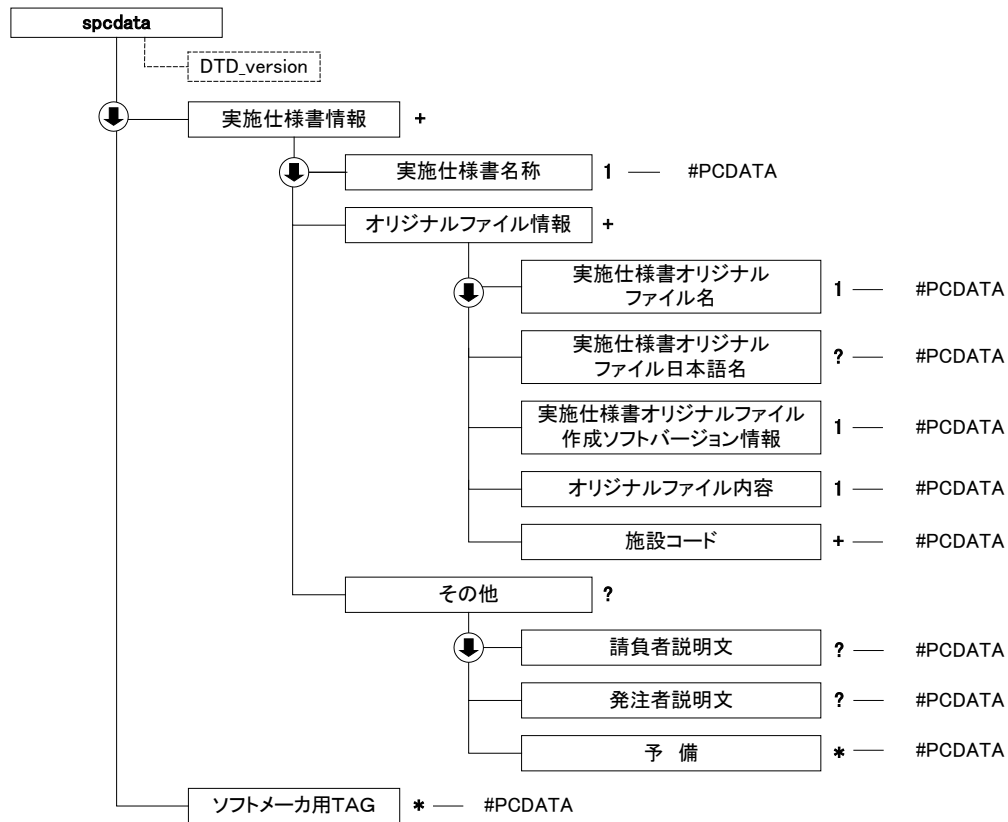
成果品の電子媒体に添付する施工計画書管理ファイル（PLAN.XML）の DTD（PLAN02.DTD）を以下に示す。

```
<!--PLAN02.DTD / 2007/04 -->
<!ELEMENT plandata (施工計画書情報+,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST plandata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!-- 施工計画書情報 -->
<!ELEMENT 施工計画書情報 (シリアル番号,施工計画書名称,オリジナルファイル情報+,その他?)>
<!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工計画書名称 (#PCDATA)>

<!-- オリジナルファイル情報 -->
<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (施工計画書オリジナルファイル名,施工計画書オリジナルファイル日本語名?,施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容)>
<!ELEMENT 施工計画書オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工計画書オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>

<!-- その他 -->
<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>
<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

PLAN02.DTDの構造図

⬇ : 上から順に記述することを示す。
1 : 必ず、1回記述する。
? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+ : 必ず、1回以上記述する。
* : 記述は任意。複数の記述を認める。

4　B実施仕様書管理ファイルのDTD

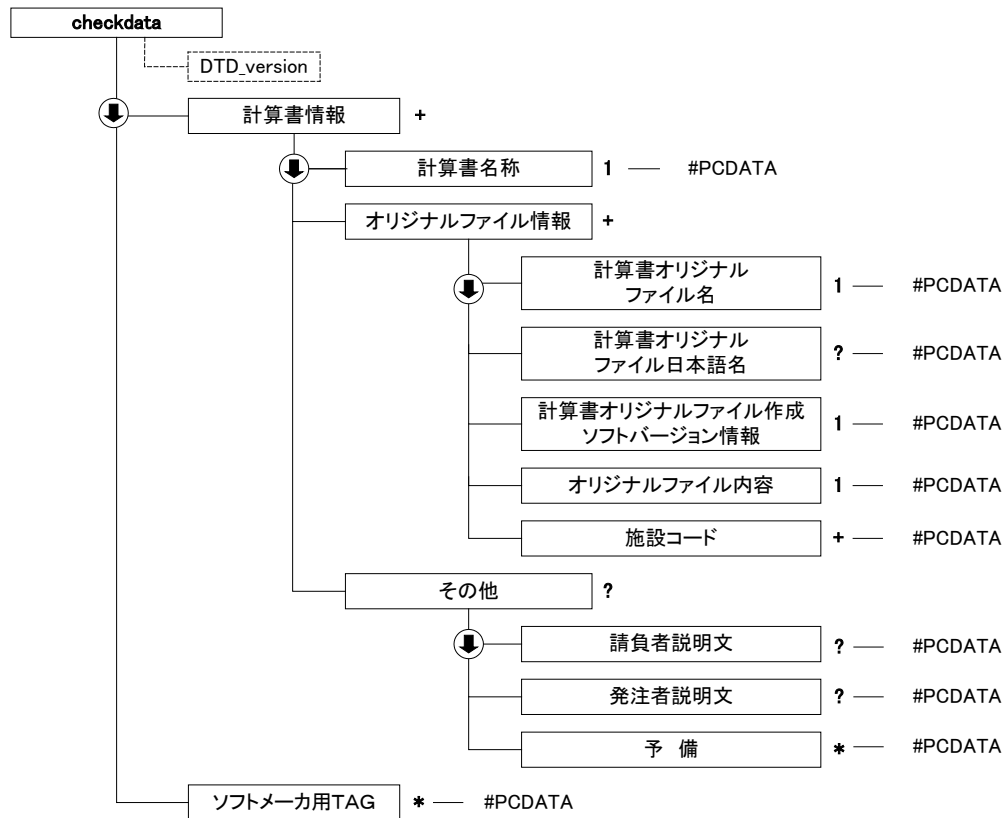
成果品の電子媒体（完成図書フォルダ）に添付する実施仕様書管理ファイル（BS.XML）の DTD（SPC02.DTD）を以下に示す。

```
<!--SPC02.DTD / 2007/04-->

<!ELEMENT specdata (実施仕様書情報+,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST specdata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!ELEMENT 実施仕様書情報 (実施仕様書名称,オリジナルファイル情報+,その他?)>

<!ELEMENT 実施仕様書名称 (#PCDATA)>

<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (実施仕様書オリジナルファイル名,実施仕様書オリジナルファイル日本語名?,実施仕様書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容,施設コード+)>
<!ELEMENT 実施仕様書オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 実施仕様書オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 実施仕様書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施設コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>

<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

: 上から順に記述することを示す。
1 : 必ず、1回記述する。
? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+ : 必ず、1回以上記述する。
* : 記述は任意。複数の記述を認める。

5　B計算書管理ファイルのDTD

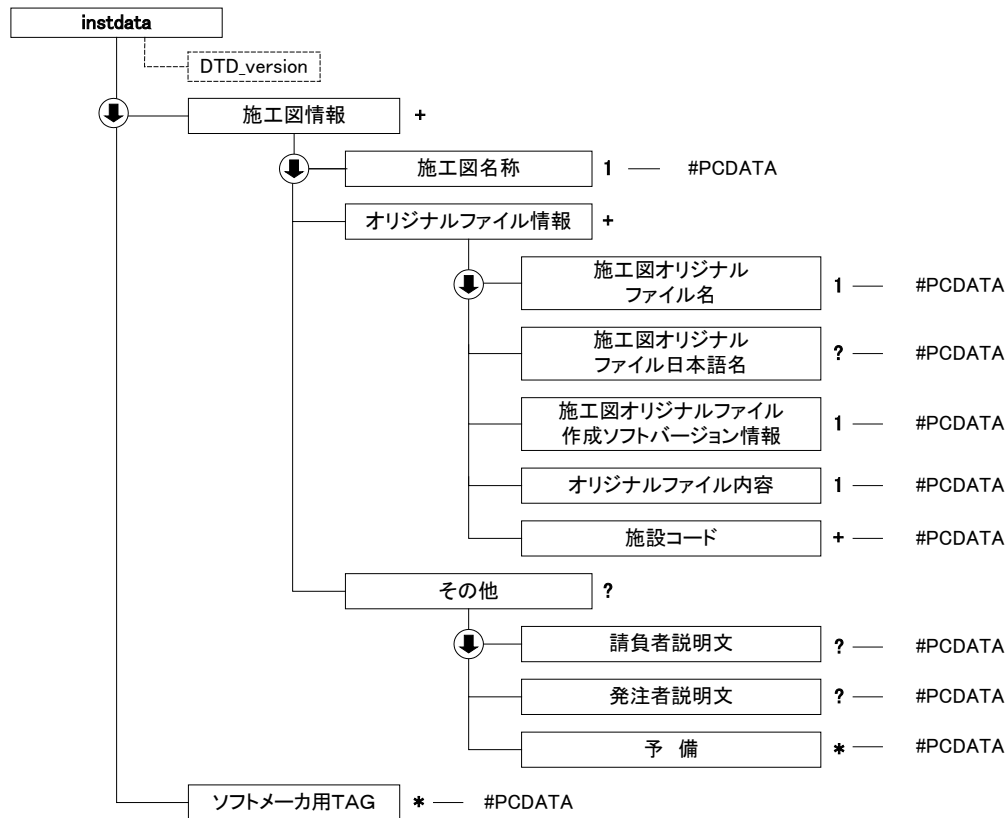
成果品の電子媒体（完成図書フォルダ）に添付する計算書管理ファイル（BC.XML）の DTD（CHECK02.DTD）を以下に示す。

```
<!--CHECK02.DTD / 2007/04-->
<!ELEMENT checkdata (計算書情報+,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST checkdata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!ELEMENT 計算書情報 (計算書名称,オリジナルファイル情報+,その他?)>

<!ELEMENT 計算書名称 (#PCDATA)>

<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (計算書オリジナルファイル名,計算書オリジナルファイル日本語名?,計算書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容,施設コード+)>
<!ELEMENT 計算書オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 計算書オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 計算書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施設コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>

<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

CHECK02.DTDの構造図

⬇ : 上から順に記述することを示す。
1 : 必ず、1回記述する。
? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+ : 必ず、1回以上記述する。
＊ : 記述は任意。複数の記述を認める。

6　B施工図管理ファイルのDTD

成果品の電子媒体（完成図書フォルダ）に添付する施工図管理ファイル（BI.XML）の DTD（INST02.DTD）を以下に示す。

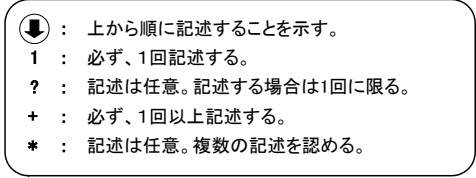
```
<!--INST02.DTD / 2007/04-->

<!ELEMENT instdata (施工図情報+,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST instdata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!ELEMENT 施工図情報 (施工図名称,オリジナルファイル情報+,その他?)>

<!ELEMENT 施工図名称 (#PCDATA)>

<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (施工図オリジナルファイル名,施工図オリジナルファイル日本語名?,施工図オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容,施設コード+)>
<!ELEMENT 施工図オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工図オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工図オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施設コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>

<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

⬇	:	上から順に記述することを示す。
1	:	必ず、1回記述する。
?	:	記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+	:	必ず、1回以上記述する。
*	:	記述は任意。複数の記述を認める。

7　B機器図管理ファイルのDTD

成果品の電子媒体（完成図書フォルダ）に添付する機器図管理ファイル（BD.XML）の DTD（DEVICE02.DTD）を以下に示す。

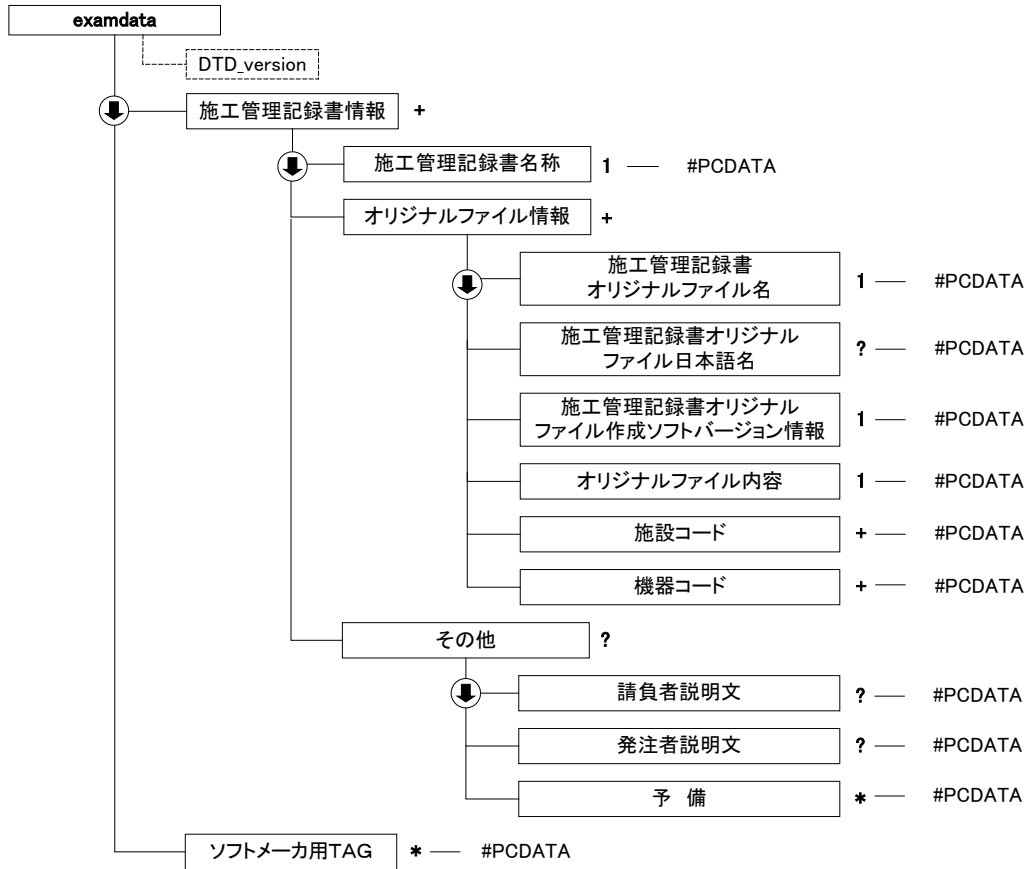
```
<!--DEVICE02.DTD / 2007/04-->

<!ELEMENT devicedata (機器図情報+,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST devicedata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!ELEMENT 機器図情報 (機器図名称,オリジナルファイル情報+,その他?)>

<!ELEMENT 機器図名称 (#PCDATA)>

<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (機器図オリジナルファイル名,機器図オリジナルファイル日本語名?,機器図オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容,施設コード+,機器コード+)>
<!ELEMENT 機器図オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 機器図オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 機器図オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施設コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 機器コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>

<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

DEVICE02.DTDの構造図

: 上から順に記述することを示す。
1 : 必ず、1回記述する。
? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+ : 必ず、1回以上記述する。
* : 記述は任意。複数の記述を認める。

8　B施工管理記録書管理ファイルのDTD

成果品の電子媒体（完成図書フォルダ）に添付する施工管理記録書管理ファイル（BE.XML）の DTD（EXAM02.DTD）を以下に示す。

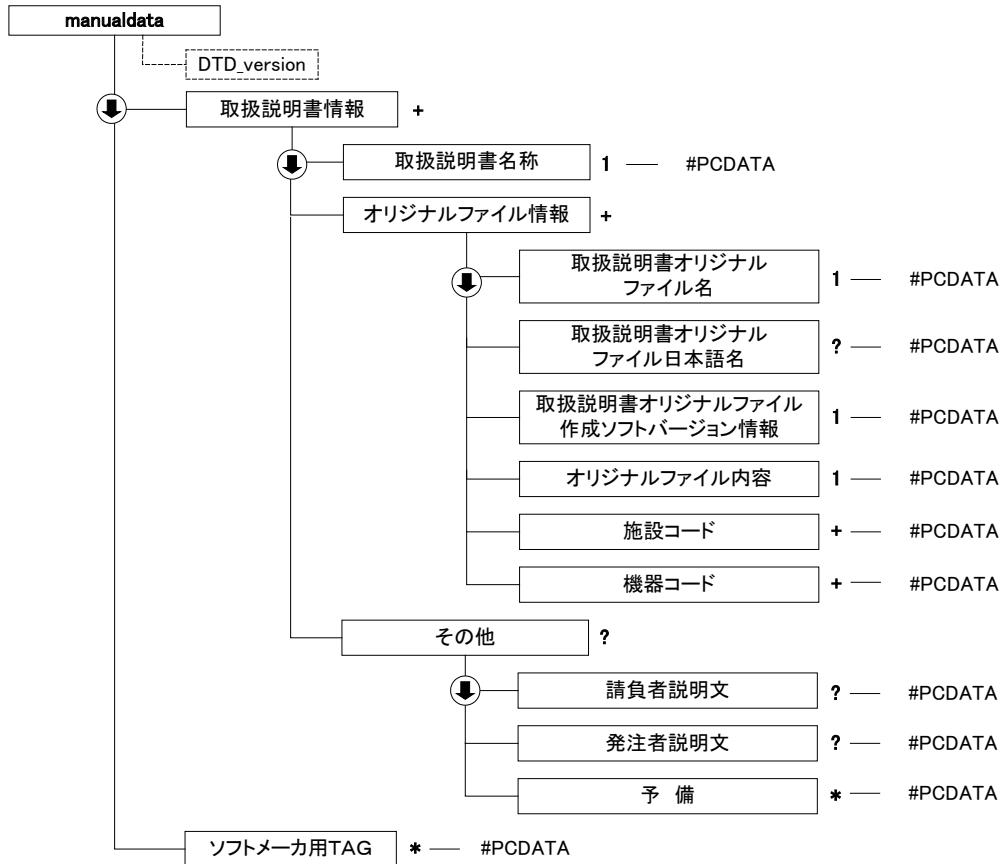
```
<!--EXAM02.DTD / 2007/04-->

<!ELEMENT examdata (施工管理記録書情報+,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST examdata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!ELEMENT 施工管理記録書情報 (施工管理記録書名称,オリジナルファイル情報+,その他?)>

<!ELEMENT 施工管理記録書名称 (#PCDATA)>

<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (施工管理記録書オリジナルファイル名,施工管理記録書オリジナルファイル日本語名?,施工管理記録書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容,施設コード+,機器コード+)>
<!ELEMENT 施工管理記録書オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工管理記録書オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工管理記録書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施設コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 機器コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>

<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

EXAM02.DTDの構造図

⬇	:	上から順に記述することを示す。
1	:	必ず、1回記述する。
?	:	記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+	:	必ず、1回以上記述する。
*	:	記述は任意。複数の記述を認める。

9　B取扱説明書管理ファイルのDTD

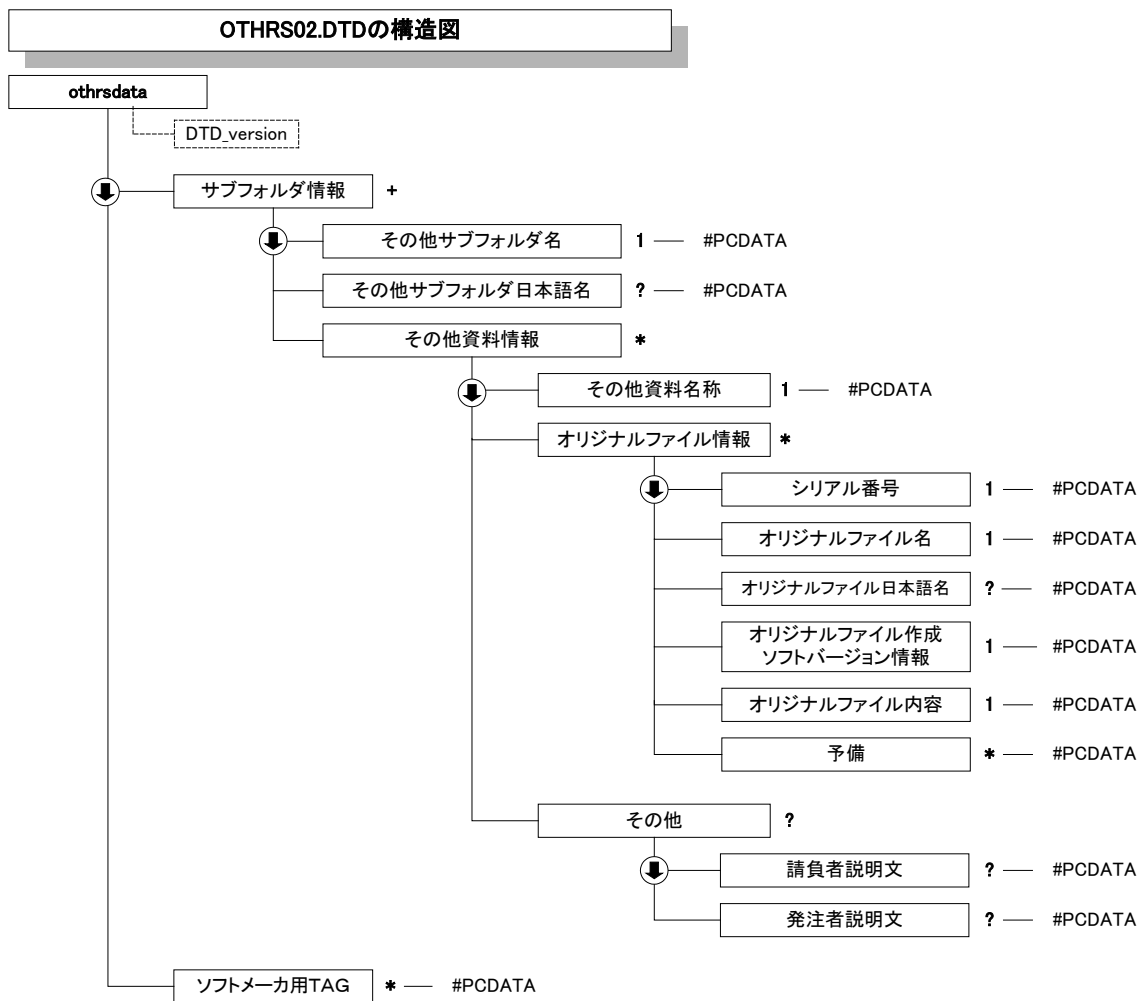
成果品の電子媒体（完成図書フォルダ）に添付する取扱説明書管理ファイル（BM.XML）の DTD（MANUAL02.DTD）を以下に示す。

```
<!--MANUAL02.DTD / 2007/04-->

<!ELEMENT manualdata (取扱説明書情報+,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST manualdata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!ELEMENT 取扱説明書情報 (取扱説明書名称,オリジナルファイル情報+,その他?)>

<!ELEMENT 取扱説明書名称 (#PCDATA)>

<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (取扱説明書オリジナルファイル名,取扱説明書オリジナルファイル日本語名?,取扱説明書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル内容,施設コード+,機器コード+)>
<!ELEMENT 取扱説明書オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 取扱説明書オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 取扱説明書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施設コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 機器コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?,予備*)>

<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

MANUAL02.DTDの構造図

⬇ ： 上から順に記述することを示す。
1 ： 必ず、1回記述する。
? ： 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+ ： 必ず、1回以上記述する。
* ： 記述は任意。複数の記述を認める。

10　その他資料管理ファイルのDTD

成果品の電子媒体に添付するその他資料管理ファイル（OTHRS.XML）の DTD（OTHRS02.DTD）を以下に示す。

```
<!--OTHRS02.DTD / 2007/04 -->

<!ELEMENT othrsdata (サブフォルダ情報+,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST othrsdata DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!--  サブフォルダ情報  -->
<!ELEMENT サブフォルダ情報 (その他サブフォルダ名,その他サブフォルダ日本語名?,その
他資料情報*)>
    <!ELEMENT その他サブフォルダ名 (#PCDATA)>
    <!ELEMENT その他サブフォルダ日本語名 (#PCDATA)>

<!--  その他資料情報  -->
<!ELEMENT その他資料情報 (その他資料名称,オリジナルファイル情報*,その他?)>

    <!ELEMENT その他資料名称 (#PCDATA)>

<!--  オリジナルファイル情報  -->
<!ELEMENT オリジナルファイル情報 (シリアル番号, オリジナルファイル名, オリジナル
ファイル日本語名?, オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報,オリジナルファイル
内容,予備*)>
<!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT オリジナルファイル内容 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!--  その他  -->
<!ELEMENT その他 (請負者説明文?,発注者説明文?)>

<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

OTHRS02.DTDの構造図
othrsdata
DTD_version
サブフォルダ情報 +
その他サブフォルダ名 1 #PCDATA
その他サブフォルダ日本語名 ? #PCDATA
その他資料情報 *
その他資料名称 1 #PCDATA
オリジナルファイル情報 *
シリアル番号 1 #PCDATA
オリジナルファイル名 1 #PCDATA
オリジナルファイル日本語名 ? #PCDATA
オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報 1 #PCDATA
オリジナルファイル内容 1 #PCDATA
予備 * #PCDATA
その他 ?
請負者説明文 ? #PCDATA
発注者説明文 ? #PCDATA
ソフトメーカ用TAG * #PCDATA
: 上から順に記述することを示す。
1 : 必ず、1回記述する。
? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
+ : 必ず、1回以上記述する。
* : 記述は任意。複数の記述を認める。

付属資料2　管理ファイルの XML 記入例

1　工事管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納する工事管理ファイル（INDEX_MC.XML）の出力例を以下に示す。


```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE constdata SYSTEM "IND_MC02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="IND_MC02.XSL"?>
<constdata DTD_version="02">

<基礎情報>
    <メディア番号>2</メディア番号>
    <メディア総枚数>3</メディア総枚数>
    <適用要領基準>農村振興機械 200704-01</適用要領基準>
    <発注図フォルダ名>DRAWINGS</発注図フォルダ名>
    <特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>DRAWINGS/SPEC</特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>
    <打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>
    <打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>
    <施工計画書フォルダ名>PLAN</施工計画書フォルダ名>
    <施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>
    <施工図面完成図フォルダ名>DRAWINGF</施工図面完成図フォルダ名>
    <完成図書フォルダ名>K_BOOK</完成図書フォルダ名>
    <B実施仕様書フォルダ名>K_BOOK/B_SPC</B実施仕様書フォルダ名>
    <B計算書フォルダ名>K_BOOK/B_CHECK</B計算書フォルダ名>
    <B施工図フォルダ名>K_BOOK/B_INST</B施工図フォルダ名>
    <B機器図フォルダ名>K_BOOK/B_DEVICE</B機器図フォルダ名>
    <B施工管理記録書フォルダ名>K_BOOK/B_EXAM</B施工管理記録書フォルダ名>
    <B取扱説明書フォルダ名>K_BOOK/B_MANUAL</B取扱説明書フォルダ名>
    <写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>
    <その他フォルダ名>OTHRS</その他フォルダ名>
    <その他オリジナルフォルダ情報>
        <その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHRS/ORG001</その他オリジナルファイルフォルダ名>
        <その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>維持管理システム登録データ</その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>
    </その他オリジナルフォルダ情報>
    <台帳フォルダ名>K_LDR</台帳フォルダ名>
</基礎情報>

<工事件名等>
    <発注年度>2007</発注年度>
    <工事番号>200611110123</工事番号>
    <工事名称>○○排水機場ポンプ設備工事</工事名称>
    <施工金額>360000000</施工金額>
```

```
        <工事実績バージョン番号>1.1.0</工事実績バージョン番号>
        <工事分野>農業農村設備</工事分野>
        <工事業種>機械器具設置工事</工事業種>
        <工種-工法型式>
            <工種>機械器具設置工事</工種>
            <工法型式>ポンプ設備工</工法型式>
        </工種-工法型式>
        <住所情報>
            <住所コード>08220</住所コード>
            <住所>茨城県つくば市○○3 丁目○○番地</住所>
        </住所情報>
        <工期開始日>2007-11-06</工期開始日>
        <工期終了日>2008-02-26</工期終了日>
        <工事内容>ポンプおよび付属設備一式</工事内容>
    </工事件名等>

    <場所情報>
        <測地系>01</測地系>
        <水系-路線情報>
            <対象水系路線名>国道○号</対象水系路線名>
            <現道-旧道区分>1</現道-旧道区分>
            <対象河川コード>8606040001</対象河川コード>
            <左右岸上下線コード>10</左右岸上下線コード>
            <測点情報>
                <起点側測点-n>0015</起点側測点-n>
                <起点側測点-m>008</起点側測点-m>
                <終点側測点-n>0018</終点側測点-n>
                <終点側測点-m>005</終点側測点-m>
            </測点情報>
            <距離標情報>
                <起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>
                <起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>
                <終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>
                <終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>
            </距離標情報>
        </水系-路線情報>
        <境界座標情報>
            <西側境界座標経度>1383730</西側境界座標経度>
            <東側境界座標経度>1384500</東側境界座標経度>
            <北側境界座標緯度>0353500</北側境界座標緯度>
            <南側境界座標緯度>0352000</南側境界座標緯度>
        </境界座標情報>
    </場所情報>

    <施設情報>
        <台帳フォルダ>1</台帳フォルダ>
  </施設情報>
```

<発注者情報>
<発注者-大分類>農林水産省</発注者-大分類>
<発注者-中分類>○○農政局</発注者-中分類>
<発注者-小分類>○○事業所</発注者-小分類>
<発注者コード>04297009</発注者コード>
</発注者情報>

<請負者情報>
<請負者名>○○建設株式会社△△組共同企業体(代表：○○建設株式会社)</請負者名>
<請負者コード>10012345000</請負者コード>
</請負者情報>

<予備></予備>
<ソフトメーカ用TAG></ソフトメーカ用TAG>

</constdata>

・2 打合せ簿管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納する工事管理ファイル（MEET.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE meetdata SYSTEM "MEET02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="MEET02.XSL"?>
<meetdata DTD_version="02">

<打合せ簿情報>
    <シリアル番号 下位打合せ簿シリアル番号="2">1</シリアル番号>
    <打合せ簿種類>通知</打合せ簿種類>
    <打合せ簿名称>○○○に関する協議</打合せ簿名称>
    <管理区分>品質管理</管理区分>
    <関連資料>
       <図面ファイル名>COPL001Z.P21</図面ファイル名>
       <シリアル番号>200</シリアル番号>
    </関連資料>
    <作成者>請負者:現場代理人</作成者>
    <提出先>発注者</提出先>
    <発行日付>2007-12-09</発行日付>
    <受理日付>2007-12-20</受理日付>
    <完了日付>2007-12-30</完了日付>

    <オリジナルファイル情報>
       <打合せ簿オリジナルファイル名>M0001_01.XXX</打合せ簿オリジナルファイル名>
       <打合せ簿オリジナルファイル日本語名>○○○に関する打合せ簿 0001_01.XXX</打合せ簿オリジナルファイル日本語名>
       <打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>□△▽ワープロソフト_2005</打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
       <オリジナルファイル内容>○○○の通知に関する事項の鑑</オリジナルファイル内容>
    </オリジナルファイル情報>

    <オリジナルファイル情報>
       <打合せ簿オリジナルファイル名>M0001_02.XXX</打合せ簿オリジナルファイル名>
       <打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>△▽○表計算ソフト_2005</打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
       <オリジナルファイル内容>○○○の通知に関する事項の本文</オリジナルファイル内容>
    </オリジナルファイル情報>

    <その他>
       <請負者説明文> </請負者説明文>
       <発注者説明文> </発注者説明文>
       <予備>○○のカタログ</予備>
       <予備>○○のミルシート</予備>
</その他>
```

```
</打合せ簿情報>

<打合せ簿情報>
    <シリアル番号 上位打合せ簿シリアル番号=″1″ 下位打合せ簿シリアル番号=″3″>2</シ
リアル番号>
    <打合せ簿種類>提出</打合せ簿種類>
    <打合せ簿名称>請負代金内訳書及び工程表</打合せ簿名称>
    <管理区分>施工管理</管理区分>
    <関連資料>
        <図面ファイル名>C0PL002Z.P21</図面ファイル名>
        <シリアル番号>225</シリアル番号>
        <シリアル番号>228</シリアル番号>
    </関連資料>
    <作成者>請負者:現場代理人</作成者>
    <提出先>発注者</提出先>
    <発行日付>2006-12-09</発行日付>
    <受理日付>2006-12-25</受理日付>
    <完了日付>2007-01-05</完了日付>

    <オリジナルファイル情報>
        <打合せ簿オリジナルファイル名>M0002_01.XXX</打合せ簿オリジナルファイル名>
        <打合せ簿オリジナルファイル日本語名>工程表.XXX</打合せ簿オリジナルファイル
日本語名>
        <打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>△▽○表計算ソフト
         _2005</打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>工程表</オリジナルファイル内容>
    </オリジナルファイル情報>

    <オリジナルファイル情報>
        <打合せ簿オリジナルファイル名>M0002_02.XXX</打合せ簿オリジナルファイル名>
        <打合せ簿オリジナルファイル日本語名>請負代金内訳書.XXX</打合せ簿オリジナル
ファイル日本語名>
        <打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>△▽○表計算ソフト
_2005</打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>請負代金内訳書</オリジナルファイル内容>
    </オリジナルファイル情報>

    <その他>
        <請負者説明文></請負者説明文>
        <発注者説明文></発注者説明文>
        <予備></予備>
    </その他>
</打合せ簿情報>

<打合せ簿情報>
    <シリアル番号 上位打合せ簿シリアル番号=″2″>3</シリアル番号>
    <打合せ簿種類>提示</打合せ簿種類>
    <打合せ簿名称>中間技術検査の中止について</打合せ簿名称>
    <作成者>発注者：主任監督員</作成者>
        <提出先>請負者</提出先>
```

<発行日付>2006-12-03</発行日付>
<受理日付>2006-12-03</受理日付>

<オリジナルファイル情報>
<打合せ簿オリジナルファイル名>M0003_01.XXX</打合せ簿オリジナルファイル名>
<打合せ簿オリジナルファイル日本語名>20061215 中間技術検査の中止.XXX</打合せ簿オリジナルファイル日本語名>
<打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>□△▽ワープロソフト_2005</打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>本文</オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>
<その他></その他>
</打合せ簿情報>

<ソフトメーカ用TAG></ソフトメーカ用TAG>

</meetdata>

・3 施工計画書管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納する工事管理ファイル（PLAN.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE plandata SYSTEM "PLAN02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="PLAN02.XSL"?>
<plandata DTD_version="02">

<施工計画書情報>
    <シリアル番号>1</シリアル番号>
    <施工計画書名称>○○○施工計画書</施工計画書名称>

    <オリジナルファイル情報>
        <施工計画書オリジナルファイル名>PLA01_01.XXX</施工計画書オリジナルファイル名>
        <施工計画書オリジナルファイル日本語名>○○○施工計画書.XXX</施工計画書オリジナルファイル日本語名>
        <施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>□△▽ワープロソフト_2005</施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>工事概要、安全管理</オリジナルファイル内容>
    </オリジナルファイル情報>

    <オリジナルファイル情報>
        <施工計画書オリジナルファイル名>PLA01_02.XXX</施工計画書オリジナルファイル名>
        <施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>□△▽表計算ソフト_2005</施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>計画工程</オリジナルファイル内容>
    </オリジナルファイル情報>

    <オリジナルファイル情報>
       <施工計画書オリジナルファイル名>PLA01_03.XXX</施工計画書オリジナルファイル名>
       <施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>□△▽ワープロソフト_2005</施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
       <オリジナルファイル内容>施工方法</オリジナルファイル内容>
    </オリジナルファイル情報>

    <その他>
        <請負者説明文></請負者説明文>
        <発注者説明文></発注者説明文>
        <予備>紙資料：○○□図</予備>
    </その他>
</施工計画書情報>

<ソフトメーカ用TAG></ソフトメーカ用TAG>

</plandata>
```

・4　実施仕様書管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納する完成図書管理ファイル（BS.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE specdata SYSTEM "SPC02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="SPC02.XSL"?>
<specdata DTD_version="02">

<実施仕様書情報>
    <実施仕様書名称>○○○実施仕様書</実施仕様書名称>

    <オリジナルファイル情報>
        <実施仕様書オリジナルファイル名>BS001_1.PDF</実施仕様書オリジナルファイル名
>
        <実施仕様書オリジナルファイル日本語名>○○○実施仕様書.XXX</実施仕様書オリ
ジナルファイル日本語名>
        <実施仕様書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>PDF作成ソフト_5.0</実
施仕様書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>実施仕様書</オリジナルファイル内容>
        <施設コード>0210311310001P001</施設コード>
    </オリジナルファイル情報>

    <その他>
    <請負者説明文/>
    <発注者説明文/>
    <予備/>
    </その他>
    </実施仕様書情報>

<ソフトメーカ用TAG/>

</specdata>
```

・5 計算書管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納する計算書管理ファイル（BC.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE checkdata SYSTEM "CHECK02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="CHECK02.XSL"?>
<checkdata DTD_version="02">

<計算書情報>
    <計算書名称>○○計算書</計算書名称>

    <オリジナルファイル情報>
        <計算書オリジナルファイル名>BC001_1.PDF</計算書オリジナルファイル名>
        <計算書オリジナルファイル日本語名>○○計算書.XXX</計算書オリジナルファイル
日本語名>
        <計算書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>○○ソフト_2005</計算書オ
リジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>○○計算書</オリジナルファイル内容>
        <施設コード>0210311310001P001</施設コード>
    </オリジナルファイル情報>

    <その他>
        <請負者説明文/>
        <発注者説明文/>
        <予備/>
    </その他>
</計算書情報>

<ソフトメーカ用TAG/>

</checkdata>
```

・6 施工図管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納する施工図管理ファイル（BI.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE instdata SYSTEM "INST02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="INST02.XSL"?>
<instdata DTD_version="02">

<施工図情報>
    <施工図名称>○○装置図</施工図名称>
    <オリジナルファイル情報>
        <施工図オリジナルファイル名>BI001_1.PDF</施工図オリジナルファイル名>
        <施工図オリジナルファイル日本語名>○○装置図.XXX</施工図オリジナルファイル
日本語名>
        <施工図オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>PDF作成ソフト_5.0</施工図
オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>○○○装置図(1/2)</オリジナルファイル内容>
        <施設コード>0210311310001P001</施設コード>
    </オリジナルファイル情報>

    <その他>
    <請負者説明文/>
    <発注者説明文/>
    <予備/>
    </その他>
    </施工図情報>

<ソフトメーカ用TAG/>

</instdata>
```

・7 機器図管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納する機器図管理ファイル（BD.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE devicedata SYSTEM "DEVICE02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="DEVICE02.XSL"?>
<devicedata DTD_version="02">

<機器図情報>
    <機器図名称>○○機器構成図</機器図名称>
    <オリジナルファイル情報>
        <機器図オリジナルファイル名>BD001_1.PDF</機器図オリジナルファイル名>
        <機器図オリジナルファイル日本語名>○○機器構成図.XXX</機器図オリジナルファ
イル日本語名>
        <機器図オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>PDF作成ソフト_5.0</機器図
オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>○○○機器図(1/2)</オリジナルファイル内容>
        <施設コード>0210311310001P001</施設コード>
        <機器コード>PP010010000100</機器コード>
        </オリジナルファイル情報>

    <その他>
    <請負者説明文></請負者説明文>
    <発注者説明文></発注者説明文>
    <予備></予備>
    </その他>
</機器図情報>

<ソフトメーカ用TAG/>

</devicedata>
```

・8 施工管理記録書管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納する施工管理記録書管理ファイル（BE.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE examdata SYSTEM "EXAM02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="EXAM02.XSL"?>
<examdata DTD_version="02">

<施工管理記録書情報>
    <施工管理記録書名称>○○試験成績書</施工管理記録書名称>
    <オリジナルファイル情報>
        <施工管理記録書オリジナルファイル名>BE001_1.PDF</施工管理記録書オリジナルファイル名>
        <施工管理記録書オリジナルファイル日本語名>○○試験成績書.XXX</施工管理記録書オリジナルファイル日本語名>
        <施工管理記録書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>PDF作成ソフト_5.0</施工管理記録書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>○○試験成績書(1/2)</オリジナルファイル内容>
        <施設コード>0210311310001P001</施設コード>
        <機器コード>PP010010000100</機器コード>
    </オリジナルファイル情報>

    <その他>
    <請負者説明文></請負者説明文>
    <発注者説明文></発注者説明文>
    <予備></予備>
    </その他>
    </施工管理記録書情報>

<ソフトメーカ用TAG/>

</examdata>
```

・9 取扱説明書管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納する取扱説明書管理ファイル（BM.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE manualdata SYSTEM "MANUAL02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="MANUAL02.XSL"?>
<manualdata DTD_version="02">

<取扱説明書情報>
    <取扱説明書名称>○○○取扱説明書</取扱説明書名称>
    <オリジナルファイル情報>
        <取扱説明書オリジナルファイル名>BM001_1.PDF</取扱説明書オリジナルファイル名
>
        <取扱説明書オリジナルファイル日本語名>○○○取扱説明書.XXX</取扱説明書オリ
ジナルファイル日本語名>
        <取扱説明書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>PDF作成ソフト_5.0</取
扱説明書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>○○取扱説明書(1/2)</オリジナルファイル内容>
        <施設コード>0210311310001P001</施設コード>
        <機器コード>PP010010000100</機器コード>
    </オリジナルファイル情報>

    <その他>
    <請負者説明文></請負者説明文>
    <発注者説明文></発注者説明文>
    <予備></予備>
    </その他>
    </取扱説明書情報>

<ソフトメーカ用TAG/>

</manualdata>
```

・10 その他資料管理ファイルのXML記入例

成果品の電子媒体に格納するその他資料管理ファイル（OTHRS.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE othrsdata SYSTEM "OTHRS02.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="OTHRS02.XSL"?>
<othrsdata DTD_version="02">

<サブフォルダ情報>
    <その他サブフォルダ名>ORG001</その他サブフォルダ名>
    <その他サブフォルダ日本語名>○○システム入力データ</その他サブフォルダ日本語名
>
    <その他資料情報>
        <その他資料名称>維持管理○○データ</その他資料名称>
        <その他>
            <請負者説明文></請負者説明文>
            <発注者説明文>維持管理において○○システムに入力するデータを格納する。</
発注者説明文>
        </その他>
    </その他資料情報>
</サブフォルダ情報>

<サブフォルダ情報>
    <その他サブフォルダ名>ORG002</その他サブフォルダ名>
    <その他サブフォルダ日本語名>段階確認書</その他サブフォルダ日本語名>
    <その他資料情報>
        <その他資料名称>○○に関する段階確認書</その他資料名称>
        <オリジナルファイル情報>
            <シリアル番号>1</シリアル番号>
            <オリジナルファイル名>CHK01_01.XXX</オリジナルファイル名>
            <オリジナルファイル日本語名>20061201 段階確認書.XXX</オリジナルファイル
日本語名>
            <オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>○△□ワープロソフト_2005</
オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
            <オリジナルファイル内容>○○□に関する段階確認書</オリジナルファイル内容
>
            <予備></予備>
        </オリジナルファイル情報>
        <その他>
            <請負者説明文></請負者説明文>
            <発注者説明文>段階確認書が重要書類であることから格納する。</発注者説明文>
        </その他>
    </その他資料情報>
</サブフォルダ情報>

<ソフトメーカ用TAG></ソフトメーカ用TAG>
</othrsdata>
```

付属資料３　図面・書類等の格納例

1　水門設備工事　図面、書類　提出リストと格納フォルダ（例）

フォルダ名

B_SPC:完成図書/実施仕様書、B_CHECK:完成図書/計算書、B_INST:完成図書/施工図、
B_DEVICE:完成図書/機器図、B_EXAM:完成図書/施工管理記録書、B_MANUAL:完成図書/取扱説明書、
DRAWINGF:施工図面・完成図

CAD：CADデータ（原則として SXF（P21）形式）、 PDF：PDFデータ、 ×：提出不要

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
実施仕様書		実施仕様書	B_SPC	—
設計計算書		設計計算書	B_CHECK	—
数量表		重量総括表	B_CHECK	—
		塗装面積総括表	B_CHECK	—
		仕上り重量表	B_CHECK	—
		購入品一覧表	B_CHECK	—
設計図面	全体	全体配置図	B_INST	DRAWINGF
		一般図	B_INST	DRAWINGF
		箱抜き及び挿し筋配置図	B_INST	DRAWINGF
		水密詳細図	B_INST	DRAWINGF
	戸当り	戸当り組立図	B_INST	DRAWINGF
		戸当り製作図	B_INST	DRAWINGF
		戸当り伸縮継手	B_INST	DRAWINGF
		アンカ金物製作図	B_INST	DRAWINGF
	扉体	扉体組立図	B_INST	DRAWINGF
		扉体製作図	B_INST	DRAWINGF
		水密ゴム製作図	B_INST	DRAWINGF
		水密ゴム押え板製作図	B_INST	DRAWINGF
		主ローラ製作図	B_INST	DRAWINGF

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
設計図面	扉体	サイドローラ製作図	B_INST	DRAWINGF
		シーブ・軸製作図	B_INST	DRAWINGF
		給油配管図	B_DEVICE	DRAWINGF
	開閉(昇降)装置	開閉装置組立図	B_INST	DRAWINGF
		開閉装置駆動部組立図	B_INST	DRAWINGF
		開閉装置従動部組立図	B_INST	DRAWINGF
		荷重分布図	B_INST	DRAWINGF
		アンカ金物配置および製作図	B_INST	DRAWINGF
		機械台詳細図	B_INST	DRAWINGF
		ドラム詳細図	B_INST	DRAWINGF
		歯車詳細図	B_INST	DRAWINGF
		軸詳細図	B_INST	DRAWINGF
		軸受詳細図	B_INST	DRAWINGF
		ドラム軸受詳細図	B_INST	DRAWINGF
		シーブ詳細図	B_INST	DRAWINGF
		シーブブラケット及び軸詳細図	B_INST	DRAWINGF
		休止装置組立図	B_INST	DRAWINGF
		休止装置詳細図	B_INST	DRAWINGF
		ロープ端末装置	B_DEVICE	―
		非常上限検出装置	B_DEVICE	DRAWINGF
		開度指示装置組立図	B_DEVICE	DRAWINGF
		開度指示装置詳細図	B_DEVICE	―

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
設計図面	開閉(昇降)装置	カップリング	B_DEVICE	—
		ブレーキホイール	B_DEVICE	—
		集中給油配置図	B_DEVICE	DRAWINGF
		ギヤカバー詳細図	B_INST	DRAWINGF
		減速機組立図	B_DEVICE	—
		切替装置組立図	B_DEVICE	—
		ワイヤロープ及びソケット	B_DEVICE	—
		シリンダ架台組立図	B_INST	DRAWINGF
		油圧シリンダ組立図	B_DEVICE	—
		シリンダ詳細図	B_DEVICE	—
		開度計組立図	B_DEVICE	—
		開度計詳細図	B_DEVICE	—
		油圧シリンダ点検台	B_INST	DRAWINGF
		油圧ユニット外形図	B_DEVICE	—
		油圧回路図	B_DEVICE	—
		油圧配管組立図	B_DEVICE	DRAWINGF
		油圧配管詳細図	B_DEVICE	DRAWINGF
	制御設備	盤外形図	B_DEVICE	DRAWINGF
		盤内配置図	B_DEVICE	—
		操作フローチャート	B_DEVICE	DRAWINGF
		単線結線図	B_DEVICE	DRAWINGF
		展開接続図	B_DEVICE	—

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
設計図面	制御設備	配線系統図	B_DEVICE	DRAWINGF
		電路布設図	B_INST	DRAWINGF
		電気機器図	B_DEVICE	―
		配線ピット配置図	B_DEVICE	―
		配線ピット組立図	B_DEVICE	―
		配線ピット詳細図	B_DEVICE	―
	付属設備	付属設備組立図	B_INST	DRAWINGF
		付属設備詳細図	B_INST	DRAWINGF
		付属設備機器図	B_DEVICE	―
取扱説明書		操作説明書	B_MANUAL	―
		主要機器取扱説明書	B_MANUAL	―
		メーカ取扱説明書	B_MANUAL	―
		点検整備要領	B_MANUAL	―
		チェックシート	B_MANUAL	―
		油脂リスト	B_MANUAL	―
		工具・予備品一覧表	B_MANUAL	―
		サービス連絡体制	B_MANUAL	―

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
施行管理記録	工場	原寸検査	B_EXAM	—
		材料検査	B_EXAM	—
		溶接検査	B_EXAM	—
		仮組立検査	B_EXAM	—
		機器性能検査	B_EXAM	—
		塗装検査	B_EXAM	—
	現場	据付基準点検査	B_EXAM	—
		工事材料検査	B_EXAM	—
		据付寸法検査	B_EXAM	—
		溶接検査	B_EXAM	—
		据付機能検査	B_EXAM	—

2　揚排水ポンプ設備工事 図面、書類 提出リストと格納フォルダ (例)

フォルダ名

DRAWINGS/SPEC:発注図/特別仕様書オリジナルファイル、PLAN:施工計画書
B_SPC:完成図書/実施仕様書、B_CHECK:完成図書/計算書、B_INST:完成図書/施工図、
B_DEVICE:完成図書/機器図、B_EXAM:完成図書/施工管理記録書、B_MANUAL:完成図書/取扱説明書、
DRAWINGF:施工図面・完成図

CAD：CADデータ（原則として SXF（P21）形式）、 PDF：PDFデータ、 ×：提出不要

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
契約仕様書			DRAWINGS/SPEC	―
全体		製作仕様書	B_SPC	―
		設計計算書	B_CHECK	―
		一般平面図	B_INST	DRAWINGF
		据付平面図	B_INST	DRAWINGF
		据付断面図	B_INST	DRAWINGF
		機器構成図	B_INST	DRAWINGF
		全体フロー図	B_INST	DRAWINGF
		検査試験要領書	B_CHECK	―
		塗装要領書	B_CHECK	―
		写真撮影要領書	×	×
		工程管理表	×	×
（機器単体）	主ポンプ ファン	組立断面図	B_DEVICE	DRAWINGF
		外形寸法図	B_DEVICE	DRAWINGF
		ケーシング製作図	×	×
		羽根車製作図	×	×
		主軸製作図	×	×
		軸受製作図	×	×
		その他部品製作図	×	×
		木型図	×	×

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
（機器単体）	主ポンプ ファン	購入部品構造図	B_DEVICE	—
		組立要領図	B_DEVICE	—
	減速機	構造図	B_DEVICE	DRAWINGF
		外形寸法図	B_DEVICE	DRAWINGF
		センサー給油系統図	B_DEVICE	DRAWINGF
		歯車製作図	×	×
		軸製作図	×	×
		軸受製作図	×	×
		購入部品構造図	B_DEVICE	—
		組立要領図	B_DEVICE	—
	原動機	外形寸法図	B_DEVICE	DRAWINGF
		機器構成図	B_DEVICE	DRAWINGF
		部品製作図	×	×
		潤滑油システムフローシート	B_DEVICE	DRAWINGF
		燃料システムフローシート	B_DEVICE	DRAWINGF
		タイムスケジュール	B_DEVICE	DRAWINGF
		始動停止シーケンスブロック図	B_DEVICE	DRAWINGF
		制御盤詳細図（外形図）	B_DEVICE	DRAWINGF
		サイレンサー外形構造図	B_DEVICE	DRAWINGF
	弁 ダンパー	外形寸法図	B_DEVICE	—
		組立断面図	B_DEVICE	—
		駆動部詳細図	B_DEVICE	—

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
（機器単体）		弁胴弁体他製作図	×	×
	主配管・主ダクト	配管寸法図	B_DEVICE	DRAWINGF
		配管製作図	×	×
		伸縮管構造図	B_DEVICE	—
	補助機器	外形寸法図	B_DEVICE	—
		組立断面図	B_DEVICE	—
	電気品全体	システム構成図	B_DEVICE	—
		システム系統図	B_DEVICE	—
		電源系統図	B_DEVICE	—
		単線接続図	B_DEVICE	DRAWINGF
		操作制御フロー図	B_DEVICE	DRAWINGF
		計装フロー図	B_DEVICE	DRAWINGF
		管理項目表	B_DEVICE	—
	盤関係	製作仕様書	B_DEVICE	—
		容量計算書	B_DEVICE	—
		盤外形図	B_DEVICE	DRAWINGF
		盤内配置図	B_DEVICE	—
		規定値一覧表	B_DEVICE	—
		外部端子図	B_DEVICE	—
		三線接続図	B_DEVICE	—
		展開接続図	B_DEVICE	—

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
（機器単体）	コンピュータ	機能設計図	B_DEVICE	—
		システム機器構成図	B_DEVICE	—
		詳細設計図	×	×
	運転管理装置	製作仕様書	B_DEVICE	—
		ネットワーク構成図	B_DEVICE	DRAWINGF
		外形寸法図	B_DEVICE	DRAWINGF
		内部配置図	B_DEVICE	—
		外部端子図	B_DEVICE	—
	計装機器	機器仕様書	B_DEVICE	—
		外形寸法図	B_DEVICE	—
	除塵装置	全体配図	B_DEVICE	DRAWINGF
		強度計算書	B_DEVICE	—
		外形寸法図	B_DEVICE	DRAWINGF
	除塵機	スクリーン詳細図	B_DEVICE	DRAWINGF
		上部詳細図	B_DEVICE	DRAWINGF
		駆動部詳細図	B_DEVICE	DRAWINGF
		購入部品寸法図	B_DEVICE	—
		手摺梯子詳細図	B_DEVICE	DRAWINGF
		製缶加工組立図	×	×
	コンベア	外形寸法図	B_DEVICE	DRAWINGF
		購入部品寸法図	B_DEVICE	—
		製缶加工組立図	×	×

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
（機器単体）	ホッパ	外形寸法図	B_DEVICE	DRAWINGF
		給油装置図	B_DEVICE	—
		手摺架台詳細図	B_DEVICE	DRAWINGF
		製缶加工組立図	×	×
		購入部品寸法図	B_DEVICE	—
	クレーン	強度計算書	B_DEVICE	—
		外形寸法図	B_DEVICE	DRAWINGF
		全体組立図	B_DEVICE	DRAWINGF
		クラブ組立図	B_DEVICE	DRAWINGF
		歩道手摺詳細図	B_DEVICE	DRAWINGF
		購入部品寸法図	B_DEVICE	—
（工事図）		輸送計画書	PLAN	—
		据付要領書	PLAN	—
		機器組立要領書	PLAN	—
		基礎図	B_INST	DRAWINGF
		基礎詳細図	B_INST	DRAWINGF
		ピット図	B_INST	DRAWINGF
		ピット金物詳細図	B_INST	DRAWINGF
		小配管系統図	B_INST	DRAWINGF
		小配管図	B_INST	DRAWINGF
		小配管詳細図	B_INST	DRAWINGF
		小配管サポート図	B_INST	DRAWINGF

項目	機器名	図　面　名　称	完成図書フォルダ	施工図面・完成図フォルダ
			PDF	CAD
（工事図）		ダクト配置図	B_INST	DRAWINGF
		ダクト取付図	B_INST	DRAWINGF
		盤据付図	B_INST	DRAWINGF
		全体配線図	B_INST	DRAWINGF
		配線表	B_INST	DRAWINGF
		クレーン取付図	B_INST	DRAWINGF
		試運転要領書	B_CHECK	—
（管理用図書）		機器試験表	B_EXAM	—
		据付記録	B_EXAM	—
		施工管理記録書	B_EXAM	—
		試運転記録	B_EXAM	—
		官公庁等届書	B_EXAM	—
		運転操作概要書	B_MANUAL	—
		取扱説明書	B_MANUAL	—
		油脂リスト	B_MANUAL	—
		メーカリスト	B_MANUAL	—
		予備品リスト	B_MANUAL	—
		工具リスト	B_MANUAL	—
		緊急連絡先	B_MANUAL	—

付属資料４　場所情報の記入方法

場所情報に関わる記入方法を以下に示す。

(1)　工事件名等

1)　住所コード

CORINS 登録工事の場合は、着工時にそれぞれのシステムに記入した該当データを各管理項目に記入する。CORINS の登録対象外の工事の場合は、下記 URL で公開されているコード表を参照し、該当するコードを記入する。

CORINS　施工場所コード

http://ct.jacic.or.jp/corporation/know/xml/corins.html

(2)　「住所コード」と「住所」のXML表記例

- 対象地区が 1 市区町村内の 1 箇所である場合

```
<住所情報>
   <住所コード>13103</住所コード>
   <住所>東京都港区赤坂 7 丁目</住所>
</住所情報>
```

- 対象地区が 1 市区町村内の 2 箇所である場合

```
<住所情報>
   <住所コード>13103</住所コード>
   <住所>東京都港区赤坂 7 丁目</住所>
   <住所>東京都港区新橋 1 丁目</住所>
</住所情報>
```

該当地区の数を繰り返す。

- 対象地区が複数市区町村の場合（該当する住所が全て列記可能な場合）

```
<住所情報>
   <住所コード>13102</住所コード>
   <住所>東京都中央区日本橋 3 丁目</住所>
</住所情報>
<住所情報>
   <住所コード>13103</住所コード>
   <住所>東京都港区</住所>
</住所情報>
<住所情報>
   <住所コード>13109</住所コード>
   <住所>東京都品川区東品川 4 丁目</住所>
</住所情報>
      :                    :                    :
```

該当市区町村数分繰り返す。

- 対象地区が複数市区町村の場合（設計図書等の住所で代表する場合）

```
<住所情報>
  <住所コード>13102</住所コード>
  <住所コード>13103</住所コード>
  <住所コード>13109</住所コード>
  <住所>東京都中央区日本橋他地内</住所>
</住所情報>
```

中央区の他、港区及び品川区に該当する場合

- 対象地区が 1 都道府県全域の場合

```
<住所情報>
  <住所コード>28000</住所コード>
  <住所>兵庫県</住所>
</住所情報>
```

- 対象地区が発注者の管内全域等の広域に渡る場合

```
<住所情報>
  <住所コード>31000</住所コード>
  <住所コード>32000</住所コード>
  <住所コード>33000</住所コード>
  <住所コード>34000</住所コード>
  <住所コード>35000</住所コード>
  <住所>中国四国農政局管内</住所>
</住所情報>
```

住所コードは、管内の該当地域の数を繰り返す

（当該地域の範囲により、県コード・市区町村コードを選択できる）。

- 特定の地域に該当しない場合

```
<住所情報>
  <住所コード>99999</住所コード>
  <住所>対象地域なし</住所>
</住所情報>
```

（3）　場所情報

1）　「対象河川コード」のXML表記例

```
<対象河川コード>860604nnnn</対象河川コード>
```

淀川の例である。なお下 4 桁(nnnn)は河川番号を示しており、
「河川コード仕様書(案)」を準拠し、0001 から連番により付与する。

2）　「左右岸上下線コード」のXML表記例

- 対象地域が道路の上り線に位置する場合

```
<左右岸上下線コード>10</左右岸上下線コード>
```

- 対象地域が河川の両岸に位置する場合

```
<左右岸上下線コード>01</左右岸上下線コード>
<左右岸上下線コード>02</左右岸上下線コード>
```

両岸の場合は左岸と右岸を列記する。

3）　「距離標」のXML表記例

- 起点側からの距離標が 31K45、終点側の距離標が 36K67 の場合

```
<起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>
<起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>
<終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>
<終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>
```

4）　境界座標（緯度経度）

「境界座標」は世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。その範囲は対象範囲を囲む矩形の領域を示し、西側及び東側の経度と北側及び南側の緯度を各々度（3 桁）分（2 桁）秒（2 桁）で表される 7 桁の数値を記入する。「境界座標」は「対象領域の外側」を記入する。なお、対象領域が南緯及び西経の場合は頭文字に「－」(HYPHEN-MINUS)を記入する。

境界座標（緯度・経度）の値が明確である場合は、受発注者間で確認の上、その値を管理項目に記入する。境界座標（緯度・経度）の値が不明確である場合は、地形図等から読み取るなどして、その値を管理項目に記入する。その時の精度は、工事範囲にもよるが百 m 程度を目安とする（経緯度の 1 秒は地上距離で約 30m に相当する）。工事範囲が大きくなれば一般に精度も粗くなるが、可能な範囲の精度で取得することが望ましい。

なお、座標の調査方法については、次頁に示すような方法により調査できる。

5）　「境界座標」のXML表記例

- 対象地域が明らかな場合

```
<西側境界座標経度>1380929</西側境界座標経度>
<東側境界座標経度>1381212</東側境界座標経度>
<北側境界座標緯度>0351377</北側境界座標緯度>
<南側境界座標緯度>0350213</南側境界座標緯度>
```

（4）　**境界座標の調査方法(例)**

境界座標の調査方法としては、次の 5 つがある。

1) 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス
2)「地図閲覧サービス（ウォッちず)」(国土地理院)による境界座標の調査方法
3) 地形図による境界座標の調査方法
4) 都道府県の東西南北端点と重心の経度緯度の調査方法
5) 既知の平面直角座標を変換する方法

各調査方法を以下に示す。

1）　**測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス**

国土地理院では、業務・工事管理項目の境界座標に関する入力支援サービスのシステムを一般公開しており、インターネットが利用可能な環境であれば無償でサービスを利用することができる。

測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス
http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html

境界座標の取得方法を上記 URL の本文を引用して以下に示す。

（A）　**境界座標の取得方法**

まず、矢印ボタンをクリックします。

矢印ボタンが押された状態で地図中の測量した点をクリックすると、地図中にバツ印がつき、左下にその点の緯度経度が表示されます。

東端: 140° 05′ 07″
西端: 140° 05′ 07″
北端: 36° 06′ 25″
南端: 36° 06′ 25″

同様に測量した点をクリックしていくと、測量領域が赤い四角で表示され、左下に境界座標の緯度経度が表示されます。

東端: 140° 05′ 07″
西端: 140° 04′ 60″
北端: 36° 06′ 25″
南端: 36° 06′ 20″

画面中に表示されていない領域を測量したときは、虫眼鏡モードや手のひらモードで地図を移動させた後、再び矢印ボタンを押してから地図中の測量点をクリックしてください。(地図の移動のさせ方については「地図の操作」をご覧ください)

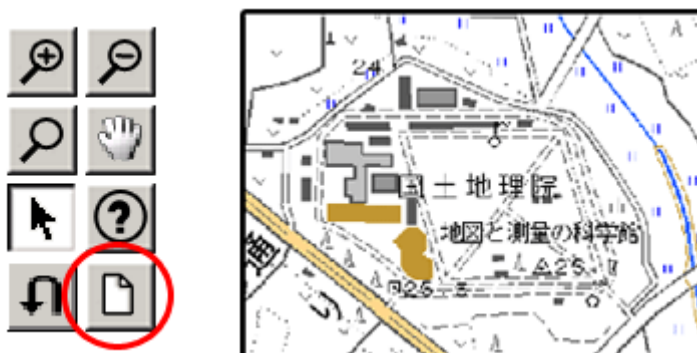
地図の操作
http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/manual_mapcontrol.html

測量領域全体をクリックすると、左下に境界座標が表示されます。

（B）　**クリックする測量点を間違えたときは...**

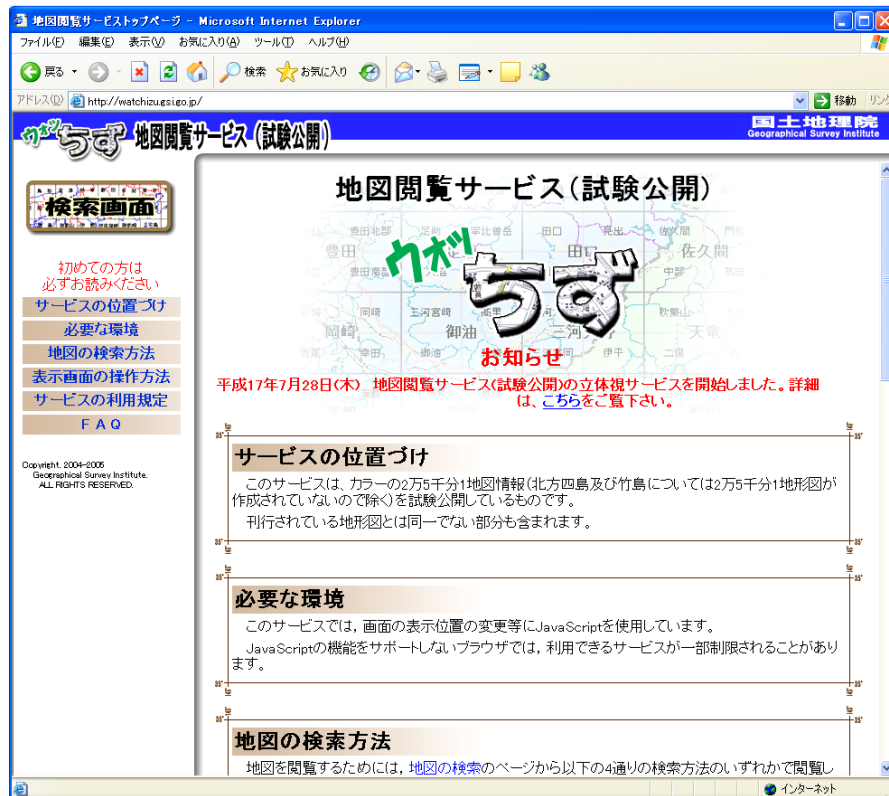
やり直しボタンをクリックすると、最後の入力を取り消すことができます。

（C）　**最初からやり直したいときは...**

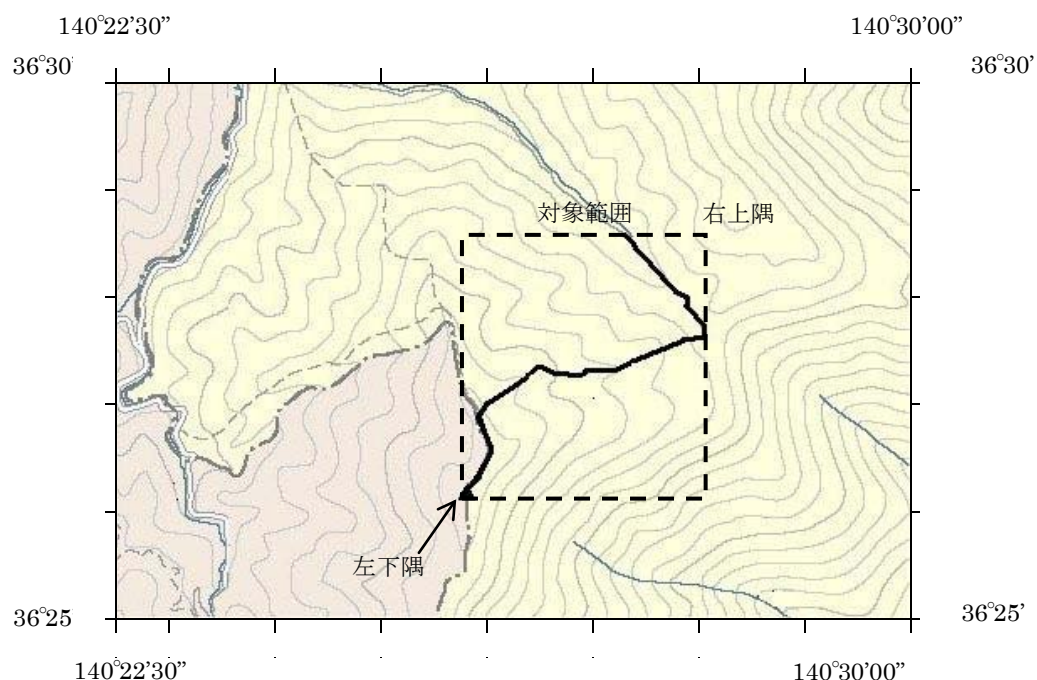
クリアボタンをクリックすると、すべての入力を消すことができます。

2) **「地図閲覧サービス（ウォッちず）」（国土地理院）による境界座標の調査方法**

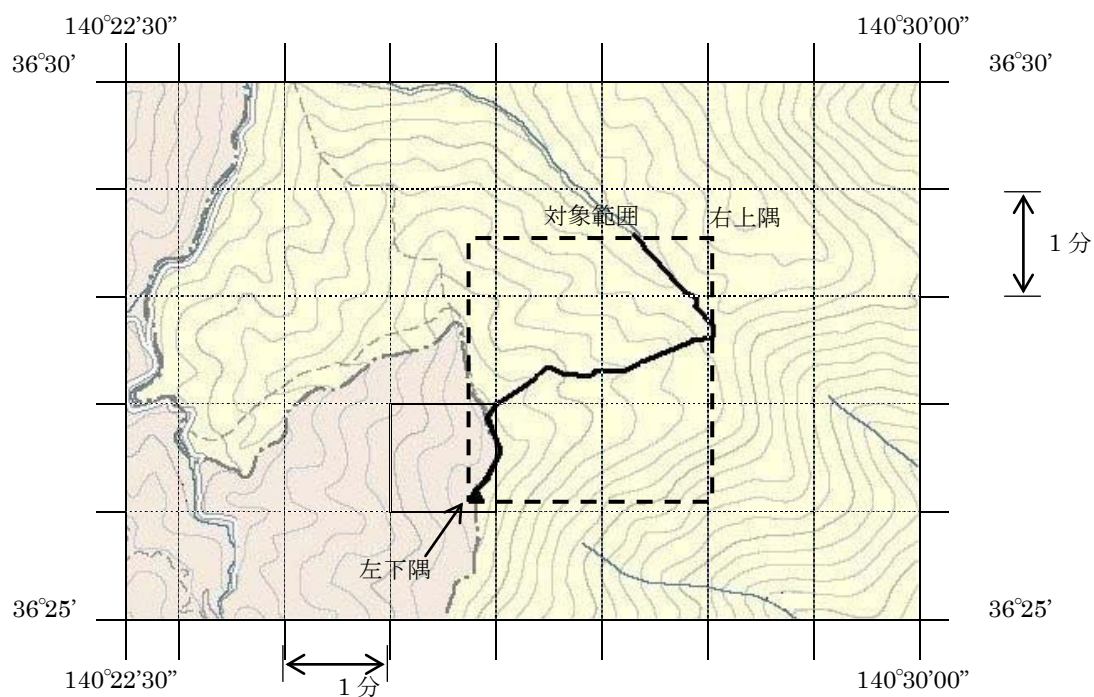
Web ブラウザにより下記 URL のホームページに接続し、「地図閲覧サービス（ウォッちず）」を利用して、境界座標を取得することができる。

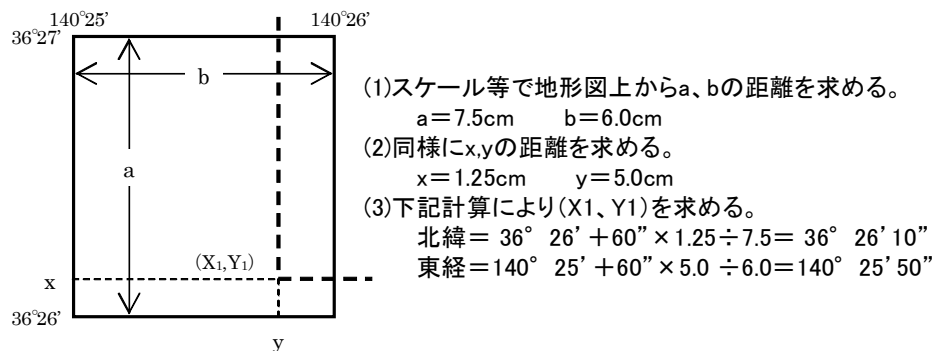
地図閲覧サービス（ウォッちず）

http://watchizu.gsi.go.jp/

付図 4-1　地図閲覧サービス（ウォッちず）

3)　**地形図による境界座標の調査方法**

1. 工事対象範囲を地形図（1/25,000、1/50,000、1/200,000）におとし、**左下隅**および**右上隅**を確認する。対象範囲が路線区間である場合は、対象路線の外側を工事対象範囲とする。

付図 4-2　工事対象範囲の取得方法

2. 地形図が 1/25,000 の場合には、図郭線上に 1 分ごとの目盛りがきざまれているので、これらの目盛りを使用し、下図のように経緯度 1 分ごとのメッシュ（方眼）を作図する。

付図 4-3　メッシュ図（1/25,000 地形図）

3. 対象範囲の左下隅を含むメッシュ（二重線で囲まれた部分）を下図のように取り出し、比例配分等により秒数を計算し、**左下隅**（X_1,Y_1）の座標を求める。求められた北緯 X_1 を「南側境界座標緯度」に、東経 Y_1 を「西側境界座標経度」に記入する。

付図 4-4　メッシュ拡大図

4. 右上隅も同様の手順で、北緯を「北側境界座標緯度」に、東経を「東側境界座標経度」に記入する。

4）　都道府県の東西南北端点と重心の経度緯度の調査方法

各都道府県の東西側の経度、南北側の緯度については、下記 URL のホームページを参照して記入することができる。

（参照先：都道府県の東西南北端点と重心の経度緯度）
国土地理院
http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/center.htm

5）　既知の平面直角座標を変換する方法

平面図等で既に対象範囲の平面直角座標が判明している場合は、それらの値を緯度経度に変換して境界座標に記入することができる。

（インターネット上で利用可能な変換プログラム例）
国土地理院
http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/surveycalc/main.html

付属資料５　XML文書作成における留意点

XML 文書の作成にあたっての留意点を以下に示す。

- XML 文書における文字セットは、「8-2 使用文字」によるものとする。
- XML 文書の文字符号化方式は、XML 文書の標準符号化方式である Unicode 形式の UTF-16、または UTF-8 を基本とすべきであるが、コンピュータシステムの現状を鑑み、当面は Shift_JIS とする。
- 提出する XML 文書には、DTD を埋め込む方式をとらず、外部ファイル参照方式を採用する。
- XML の予約文字（JIS X 0201（ラテン文字用図形文字）の不等号（より小）（<）、不等号（より大）（>）、アンパサンド（&）、アポストロフィー（’））、引用符（”））については、実体参照を用いることで使用することができる。以下に実体参照を示す。

表付 5-1　実体参照

記号	実体参照
”	"
&	&
’	'
＜	<
＞	>

- XML 文書の作成は、「JIS X 4159:2002 拡張可能なマーク付け言語(XML)」、「標準情報(TR)TR X 0015:1999XML 日本語プロファイル」を参照すること。